

千里ニュータウンに関するアンケート調査（来街者アンケート調査）結果

1 調査の概要

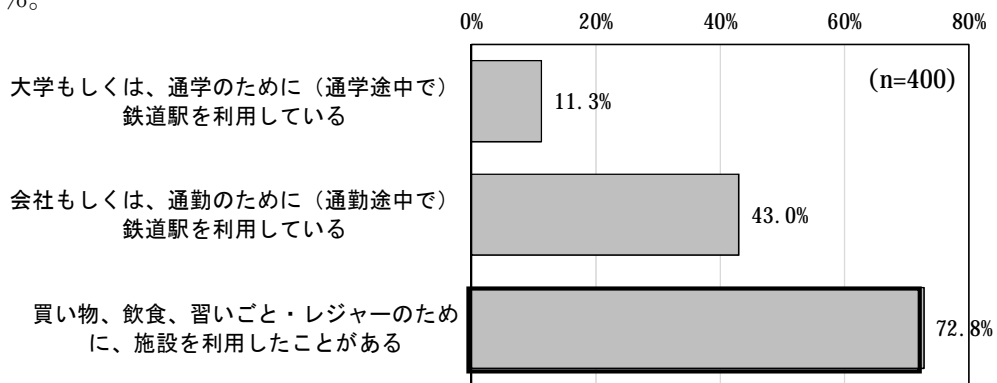
- 調査対象：千里ニュータウンを除く大阪府内の住民
- 調査時期：平成 29 年 8 月 25 日（金）～8 月 29 日（火）
- 調査方法：インターネットアンケート
- 回収状況：400 票

2 調査結果

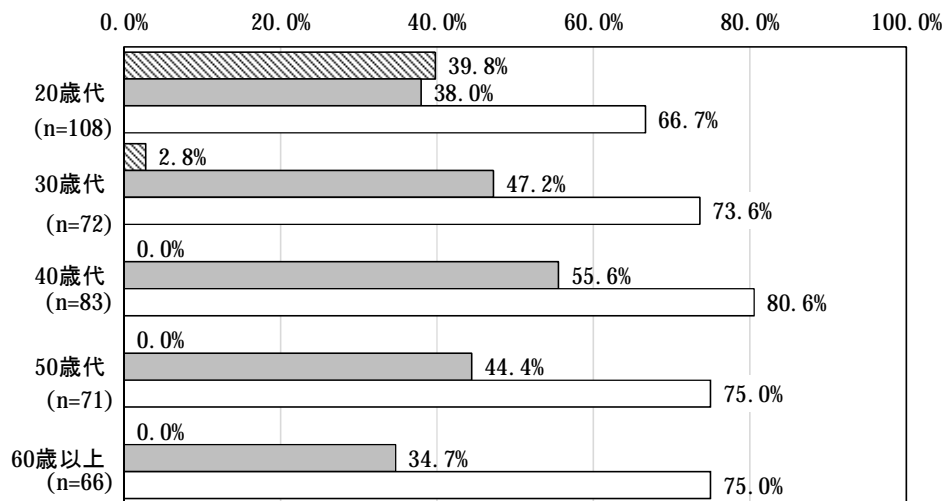
（1）来訪目的・頻度

①来訪目的 <複数回答可>

- ・「買い物、飲食、習いごと・レジャーのために、施設を利用したことがある」が最も多く、72.8%。



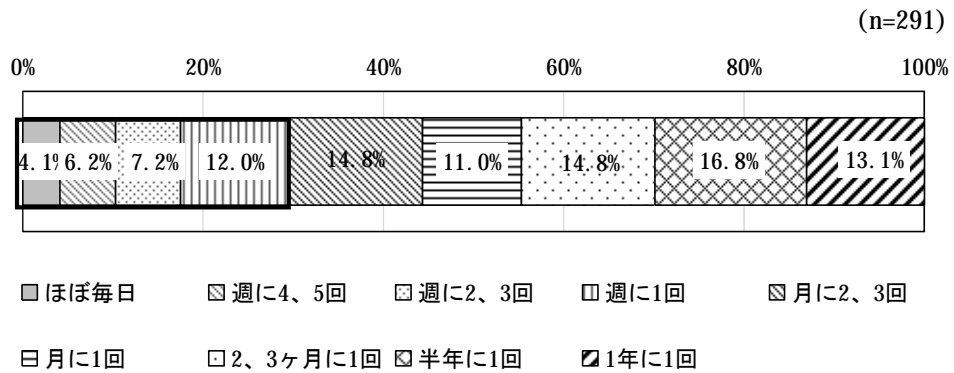
【年齢別】



- 大学もしくは、通学のために（通学途中で）鉄道駅を利用している
- 会社もしくは、通勤のために（通勤途中で）鉄道駅を利用している
- 買い物、飲食、習いごと・レジャーのために、施設を利用したことがある

②来訪頻度（買い物等で施設を利用したことがある人のみの回答 N=291）

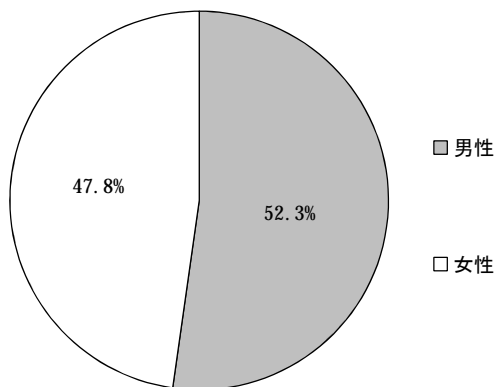
・週に1回以上は、29.5%となっている。



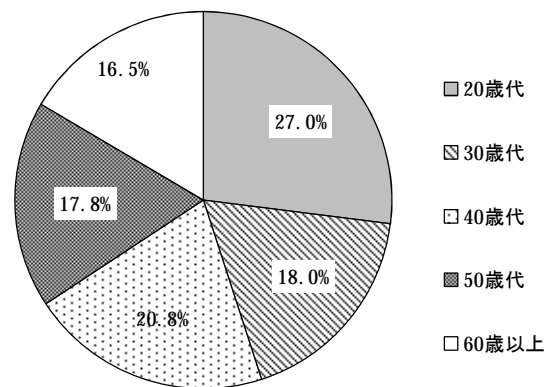
(2) 属性

- ・性別は、男性・女性でおおむね半分ずつである。
- ・年齢は、30歳代以下が45.0%と半数程度である。
- ・世帯構成は、夫婦二人、子どもと同居（子育て世帯 ※15 歳未満の方を含む「子どもと同居」世帯）が半数程度となっている。

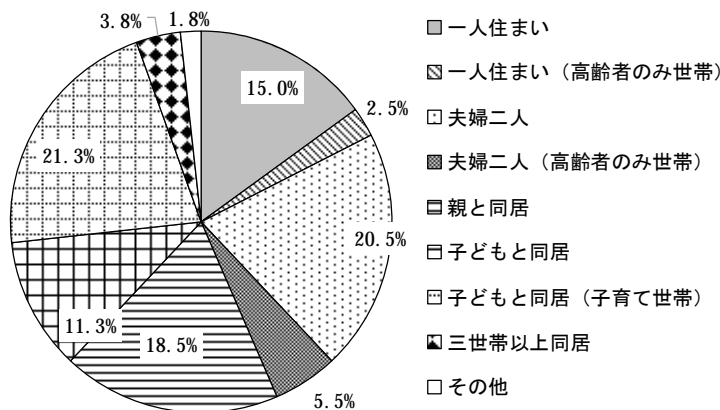
○性別



○年齢

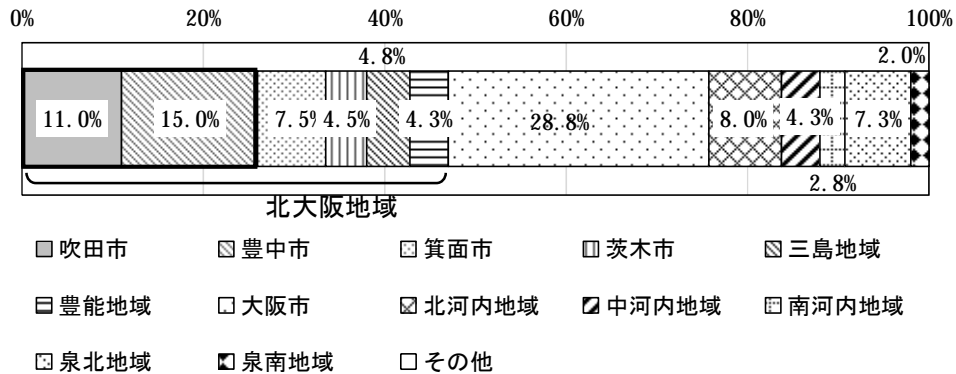


○世帯構成

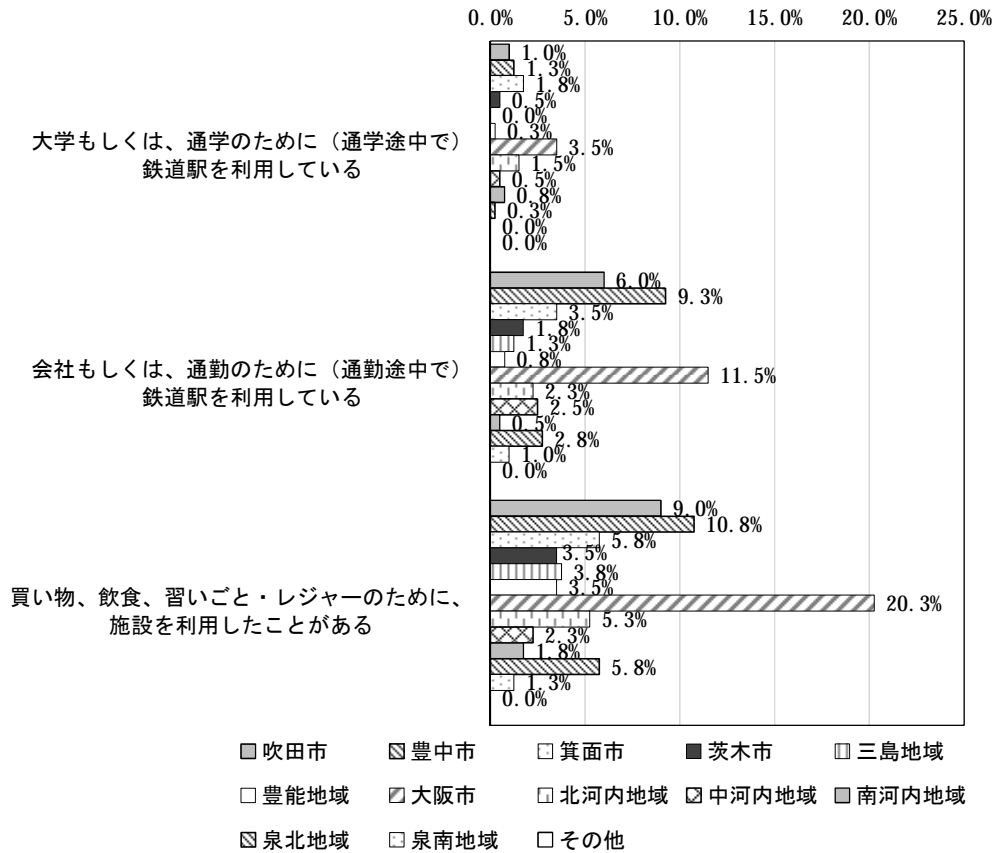


○お住まいの地域

- ・大阪市が 28.8%と最も高い割合で、次いで吹田市・豊中市（千里ニュータウンを除く）をあわせて 26.0%となっている。
- ・北大阪地域（吹田市、豊中市、箕面市、茨木市、三島地域、豊能地域）が 47.0%と半数程度を占める。
- ・来訪目的別にみると、豊中市・吹田市、大阪市居住者で通勤・買い物等のために訪れる人の割合が高い。



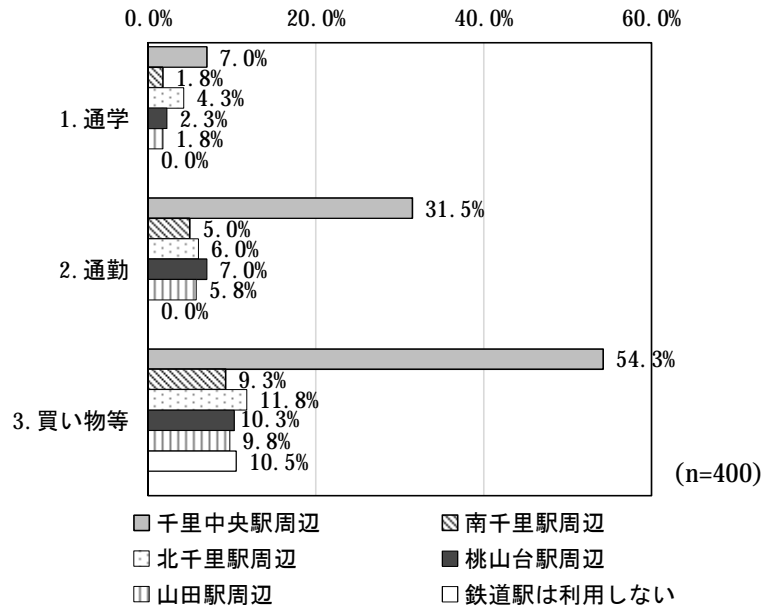
【来訪目的別】



(n=400)

○最終目的地もしくは、乗り換え等で利用する駅<複数回答可>

- ・来訪者では、「通勤」「買い物等」のために千里中央駅周辺を訪れる人が多い。
- ・また、いずれの来訪目的でも千里中央駅の利用者が最も多い。
- ・買い物等では、鉄道駅を利用しない人も 10.5%いる。



(3) 千里ニュータウン内の施設について

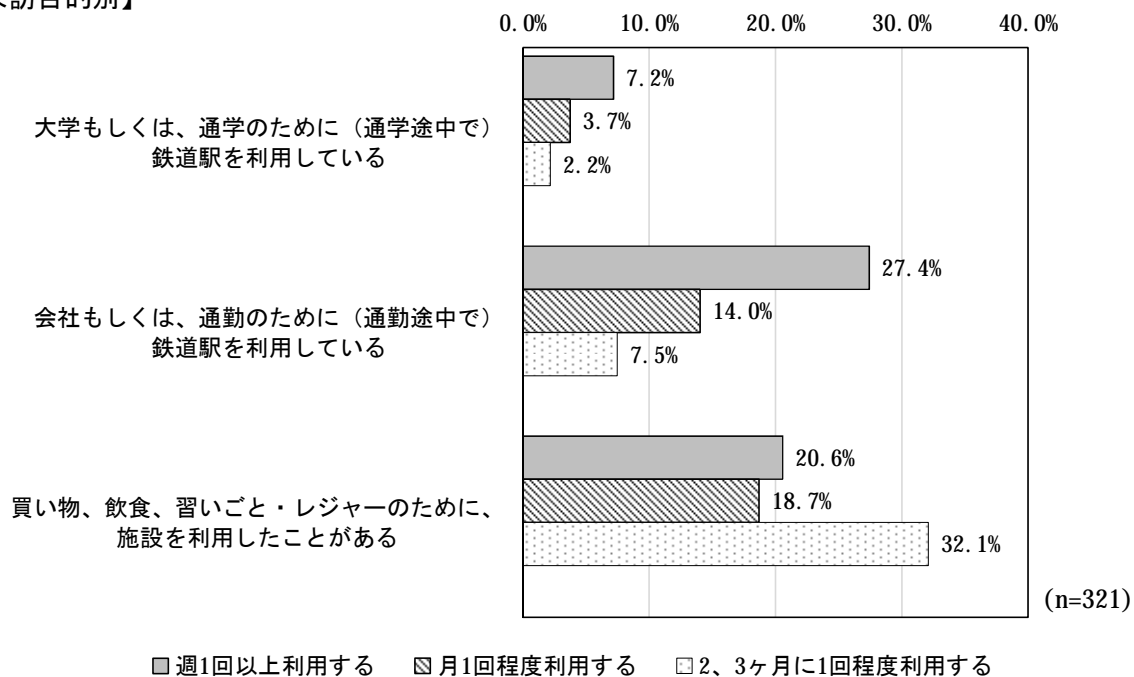
①千里中央駅周辺（千里中央地区センター）について

（※利用頻度で「ほとんど利用しない・利用したことがない」と回答した方を除く）

○利用頻度

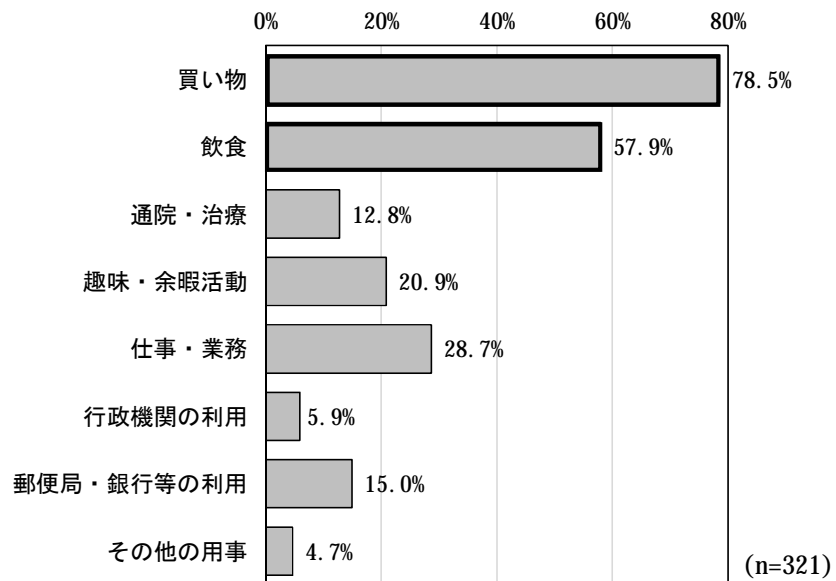
- ・「通学」「通勤」では「週1回以上利用する」人が多いが、「買い物等」では「2,3ヶ月に1回程度利用する」人が多い。

【来訪目的別】



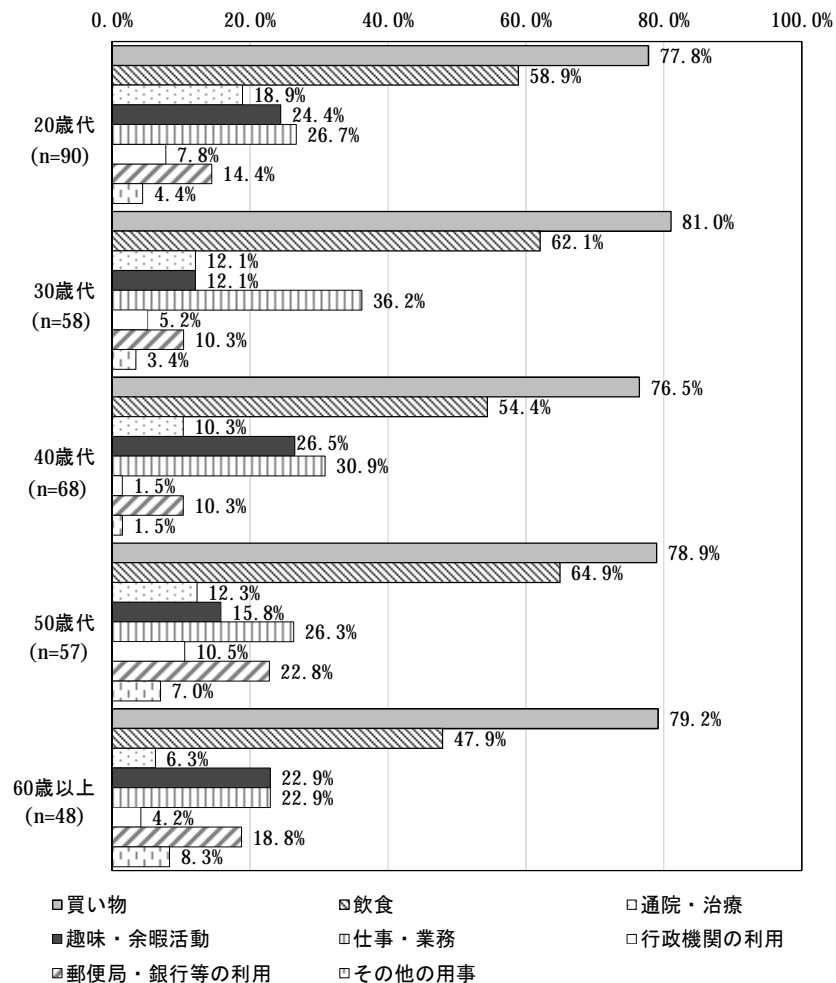
○利用目的<複数回答可>

- ・「買い物」が78.5%と最も多く、次いで「飲食」が57.9%、「仕事・業務」が28.7%である。
- ・「趣味・余暇活動」は20.9%となっている。



- ・年齢別にみると、利用目的で大きな差はないが、「趣味・余暇活動」では20歳代、40歳代、60歳以上が他の世代に比べて10%程度高い。

【年齢別】

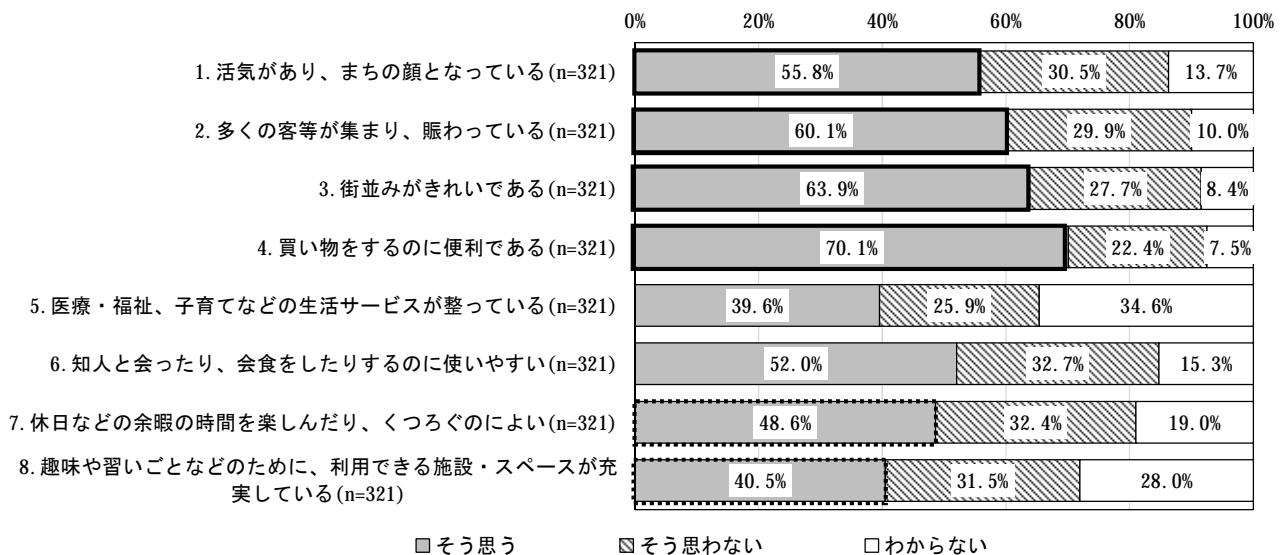


○施設等について

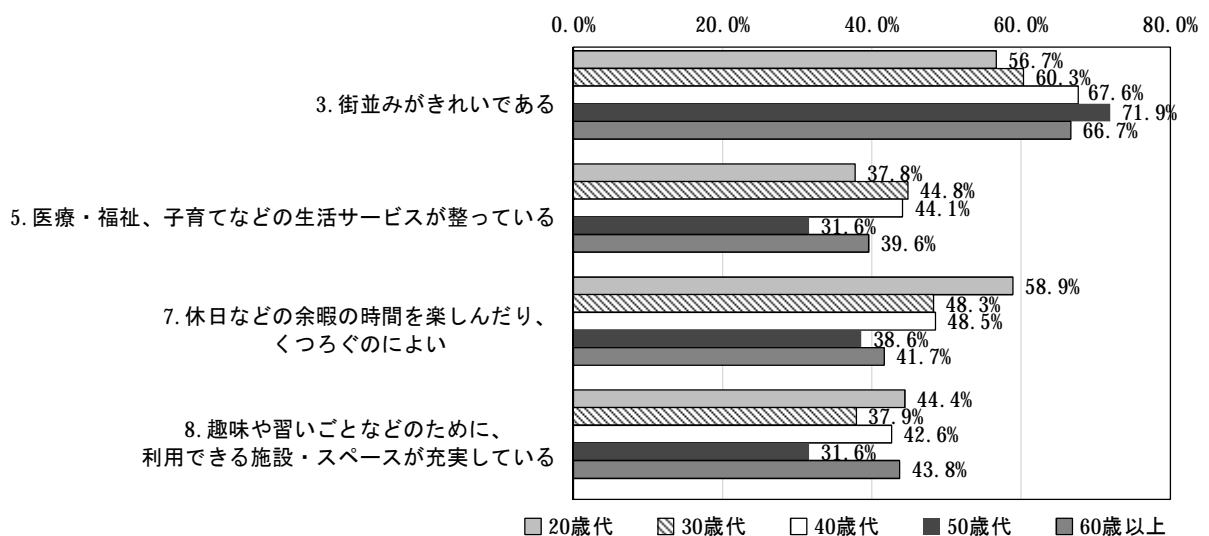
- ・「4. 買い物をするのに便利である」が最も高く 70.1%、次いで、「3. 街並みがきれいである」が 63.9%、「2. 多くの客等が集まり、賑わっている」が 60.1%、「1. まちの顔となっている」が 55.8%となっている。
- ・一方、「8. 趣味等のための施設・スペースが充実している」が 40.5%、「7. 余暇の時間を楽しんだり、くつろぐのによい」が 48.6%と交流機能の点では比較的評価が低い。
- ・年齢別にみると、「5. 生活サービスが整っている」で 50 歳代以上がやや低い。また、「7. 余暇の時間を楽しんだり、くつろぐのによい」で 50 歳代以上が低い割合である。

〔居住者アンケートと比較すると、

- ・「**「そう思う」と回答している割合は、「2. 賑わっている」「7. くつろぐのによい」「8. 趣味や習いごと等のための施設等が充実」で居住者より 10pt 以上高い割合となっている**〕



【年齢別】 ※以下の割合は、「そう思う」と回答した人の割合、特に年齢別の差が見られたもののみ掲載



○自由記述意見

【よい点】

- 雰囲気がよい、きれい (2件)
- 活気がある (1件)
- 快活、よい (4件)
- 便利 (6件)
- 新たな店等ができてよくなった (1件)
- どんどんと発展しており住みやすそう (1件)

【よくない点】

- 設備等が古い、老朽化 (14件)
- 廃れてきている、閑散としてきている、活気がない (9件)
- ニュータウン自体が高齢化しているので街に華やかさが無い (1件)
- 店が減った、空き店舗が増えている (5件)
- 閉店時間が早い (1件)
- 以前と比べて催しが少ない (1件)
- 乗換が不便 (1件)
- 一方通行等がややこしい (1件)
- 駐車場代が高い、駐車場が少ない、駐車しにくい (8件)
- バギーや車いすで移動しにくい (1件)
- ごちゃごちゃしてまとまりがない (1件)
- セルシーがなくなるのは不便。マンションや高級店が増え利用しにくくなってきた (1件)
- セルシーが不安定な状況であるが、どうなるか心配 (3件)
- セルシーを早く建て替えて欲しい (1件)
- 再開発が盛んなのは良いが、今はその影響もあり利用しづらい (1件)
- 店の代わり映えがない (1件)
- 行く度に店や街並みが変わっていてとまどう (1件)
- レンタル屋や美味しいパン屋がない (1件)

【その他の意見】

- PRが必要 (1件)
- 古い施設と新しい施設が混在し、過渡期と感じる
- もっと若い人を増やさないといけないと思う、若い人を集めるためのオシャレなカフェ (2件)
- 完全禁煙の飲食店がもっと増えて欲しい (1件)
- 買い物途中で子どもを無料で遊ばせられる場所が減った。室内で、広々と遊べるところが欲しい (1件)
- 有名な店がない、魅力的な店が少ない (2件)
- 商業施設と自然が優雅している (1件)
- 三鷹や吉祥寺の雰囲気な街になってほしい (1件)
- ショッピングモールほしい (1件)

②南千里駅周辺（千里南地区センター）について

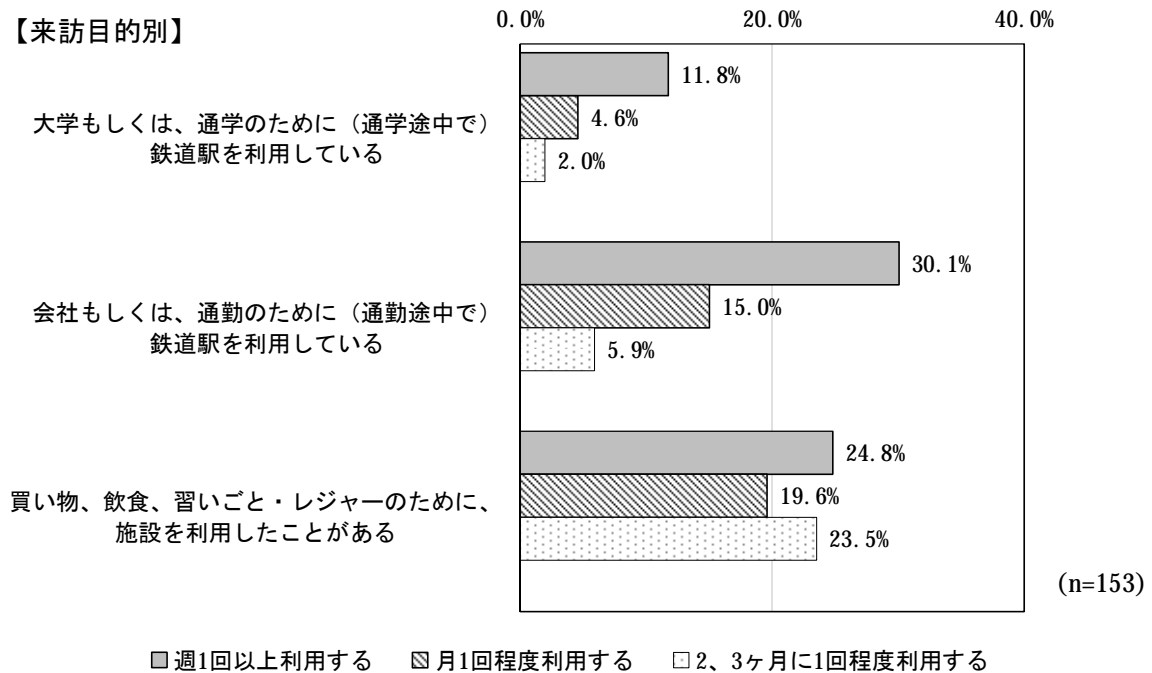
（※利用頻度で「ほとんど利用しない・利用したことがない」と回答した方を除く）

○利用頻度

- ・「通学」「通勤」「買い物等」のいずれの来訪目的でも「週1回以上利用する」が最も高い割合となっている。

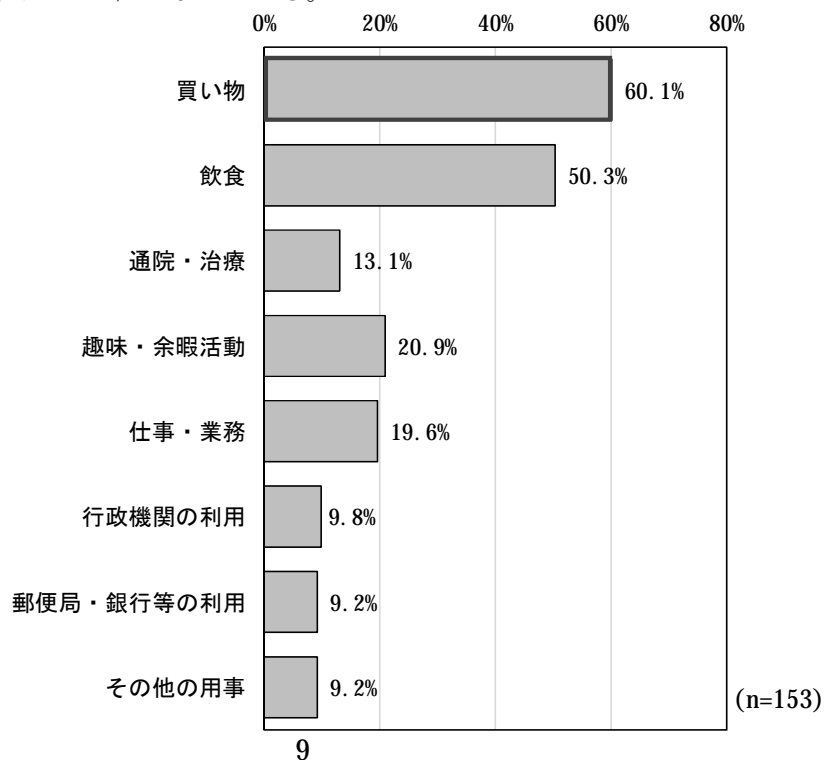
（⇨①千里中央駅周辺では、「買い物等」では「2,3ヶ月に1回程度」の割合が高かった）

【来訪目的別】



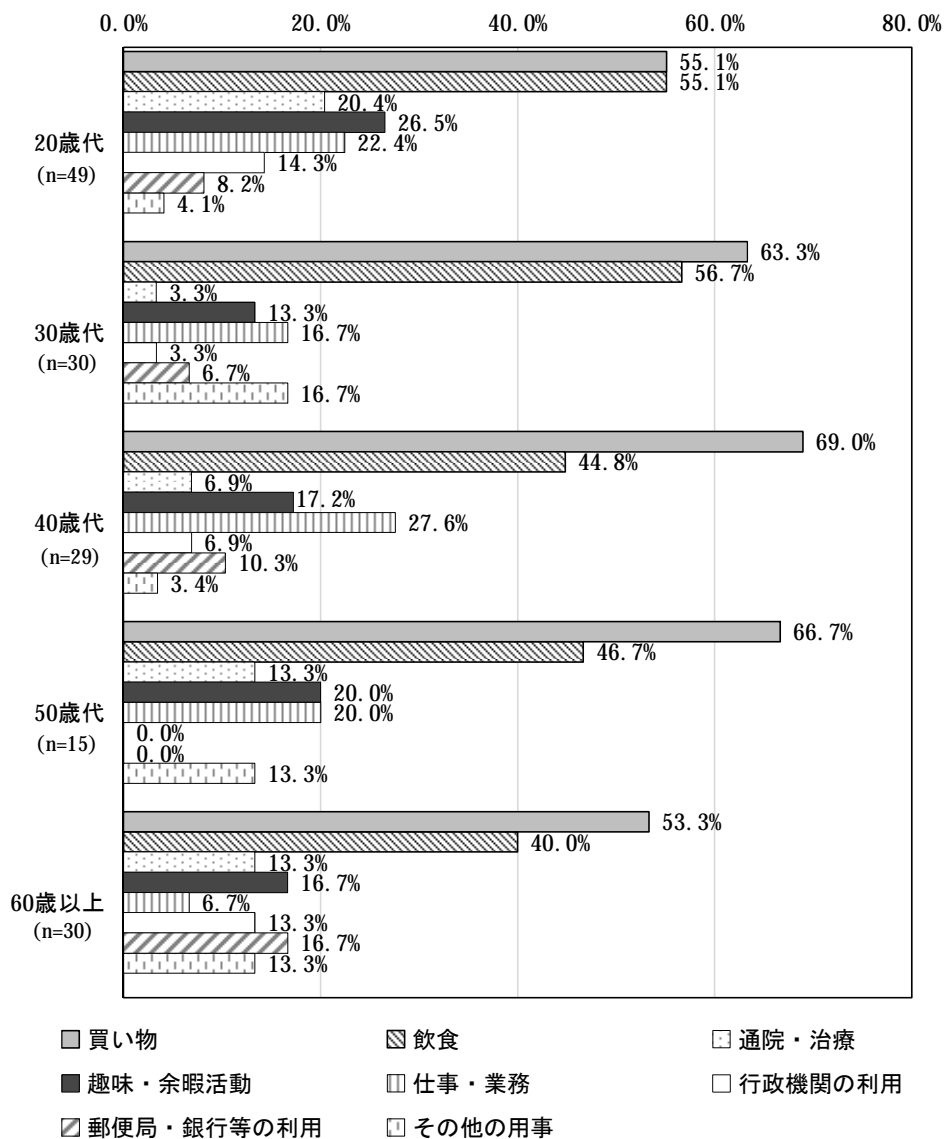
○利用目的

- ・「買い物」が60.1%と最も多く、次いで「飲食」が50.3%となっている。
- ・「趣味・余暇活動」は20.9%となっている。



- ・年齢別にみると、千里中央駅周辺と同様に、「趣味・余暇活動」では20歳代、50歳代が他の世代に比べて高い。

【年齢別】

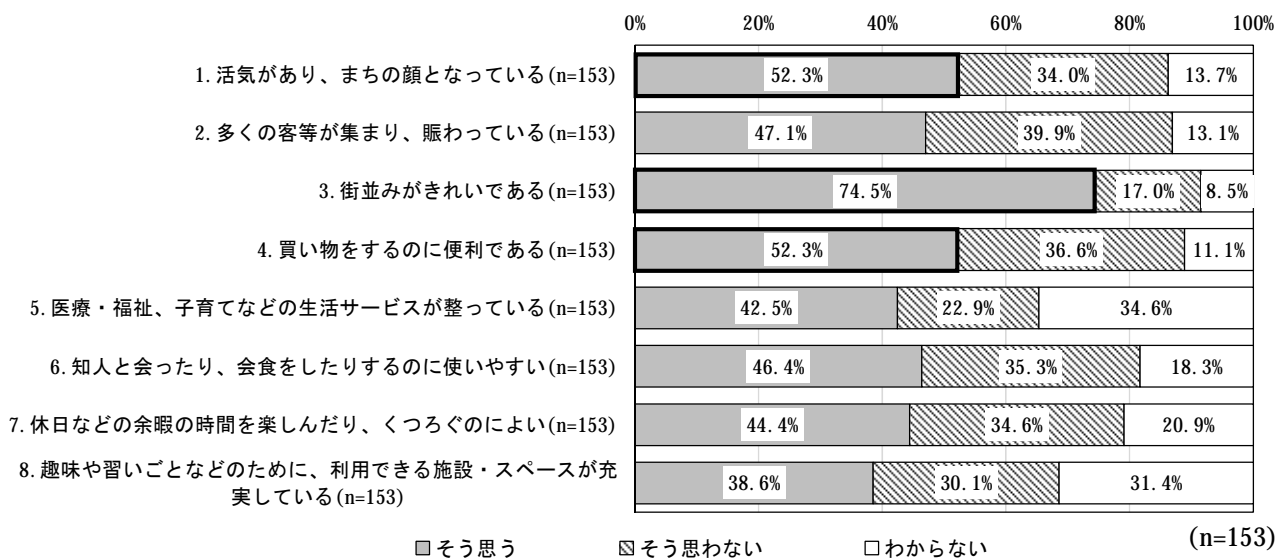


○施設等について

- ・「3. 街並みがきれいである」が最も高く 74.5%（千里中央駅周辺より 10pt 以上高い割合）、次いで「1. 活気があり、まちの顔となっている」「4. 買い物をするのに便利である」が 52.3%。
- ・一方、「8. 趣味や習いごとなどのために、利用できる施設・スペースが充実している」が 38.6%、「7. 休日などの余暇の時間を楽しんだり、くつろぐのによい」が 44.4%と交流機能の点では比較的评价が低い。

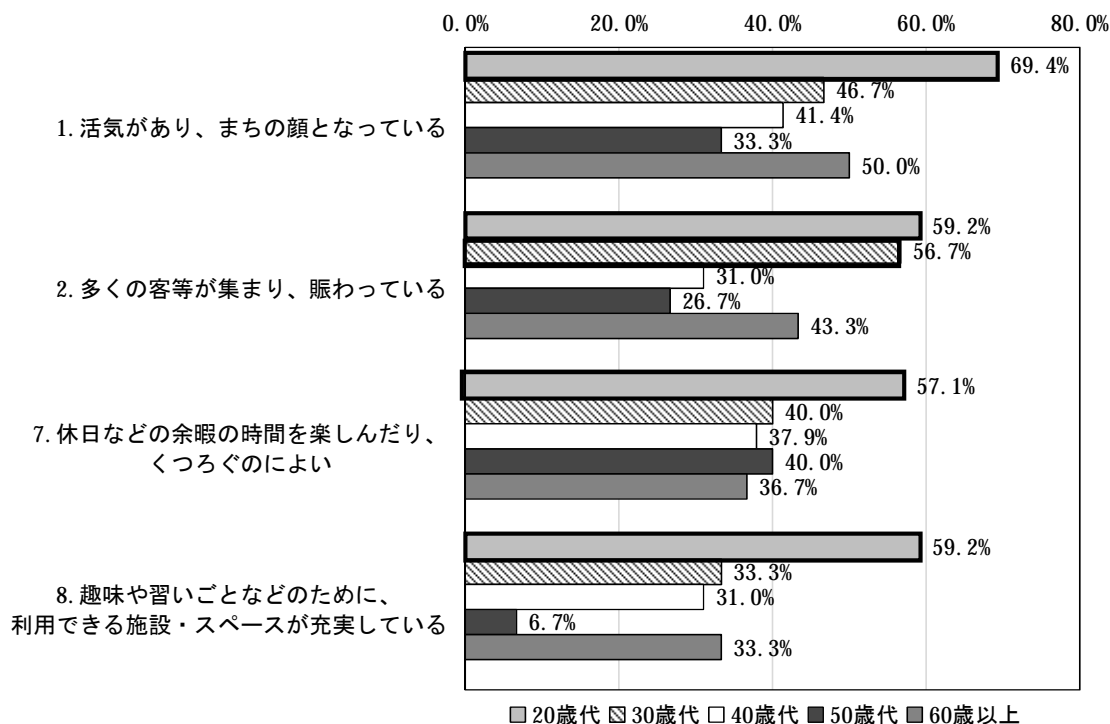
[居住者アンケートと比較すると、

- ・すべての項目で「そう思う」と回答している割合が居住者より 20pt 以上高くなっている]



【年齢別】 ※以下の割合は、「そう思う」と回答した人の割合、特に年齢別の差が見られたもののみ掲載

・年齢別にみると、「1. 活気があり、まちの顔となっている」「7. くつろぐのによい」「8. 趣味や習いごとなどのための施設・スペースが充実している」で「そう思う」と回答した割合が、20歳代の割合が他の年代に比べて特に高い。



○自由記述意見

【よい点】

- センスが良い (1件)
- 便利 (2件)
- 図書館が駅から近くて便利 (1件)
- 飲食店が多い (2件)
- 緑がたくさんあってきれい (1件)
- スタバがある (1件)

【よくない点】

- 普通 (1件)
- 静か (1件)
- ぱっとしない、地味 (2件)
- 駅にしかお店がないので、車がないと不便な場所 (1件)
- もっとお店が増えてほしい (1件)
- 飲食店が少ない (1件)
- 地味 (1件)

【その他の意見】

- まだまだ施設不足 (1件)
- 娯楽施設がほとんどない (1件)
- もう少し若い人や主婦など、ゆっくりと気兼ねなく長時間お茶やお酒を飲みながらお話ができるお店が増えてくれれば嬉しい (1件)

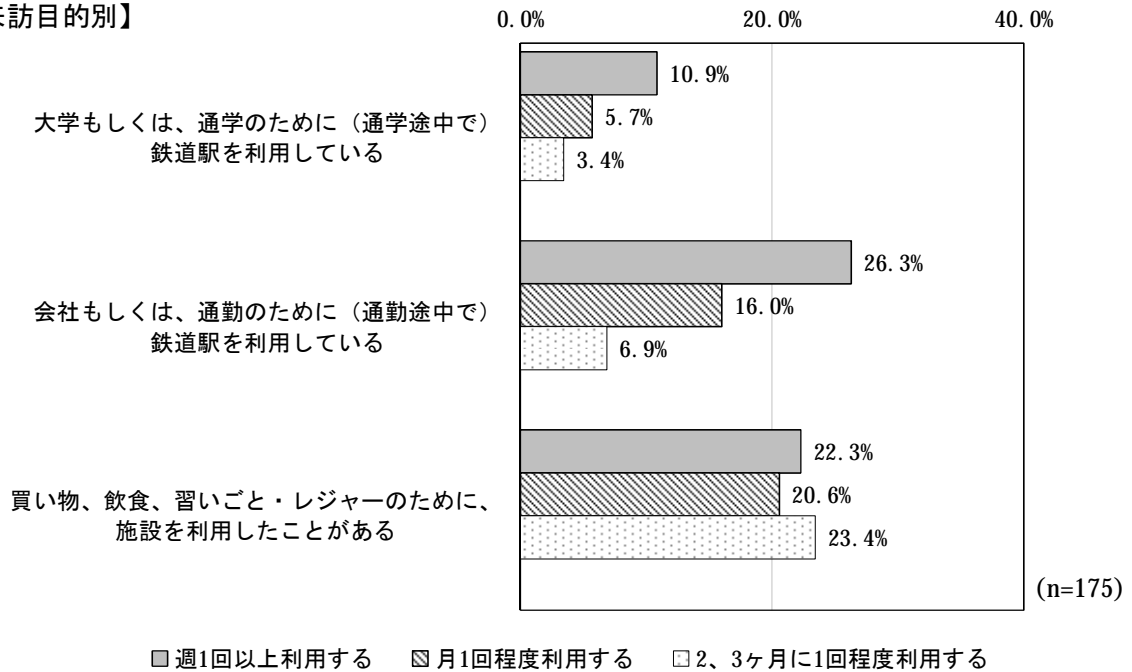
③北千里駅周辺（千里北地区センター）について

（※利用頻度で「ほとんど利用しない・利用したことがない」と回答した方を除く）

○利用頻度

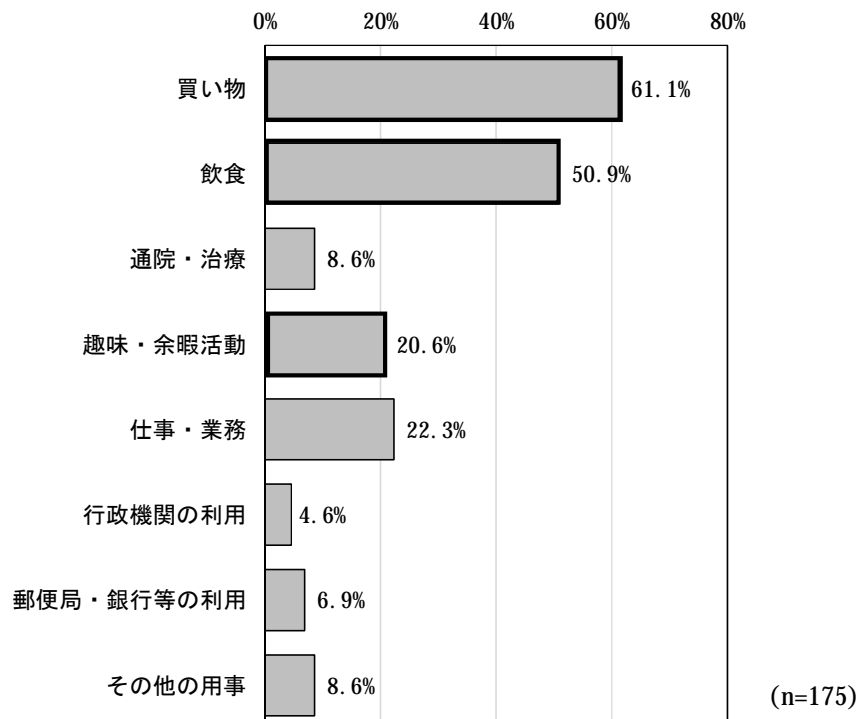
- ・「通学」「通勤」で「週1回以上利用する割合」が高い。
- ・「買い物等」では、いずれの頻度も同程度である。

【来訪目的別】



○利用目的（※利用頻度が2,3ヶ月に1回程度以上の方のみ回答）＜複数回答可＞

- ・「買い物」が61.1%と最も多く、次いで「飲食」が50.9%となっている。
- ・「趣味・余暇活動」は20.6%となっている。

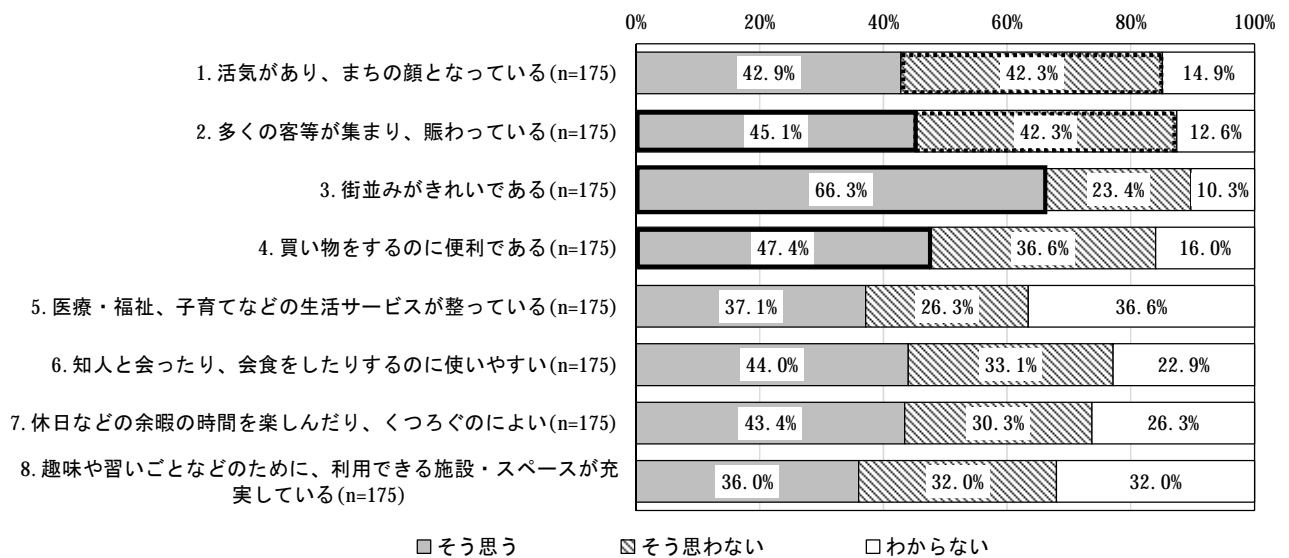


○施設等について

- ・「3.街並みがきれいである」が最も高く**66.3%**、次いで「4.買い物をするのに便利である」が**47.4%**、「2.多くの客等が集まり、賑わっている」が**45.1%**となっている。
- ・しかし、「1.まちの顔となっている」「2.多くの客等が集まり、賑わっている」と思わない人が**40%**以上であり、他の地区に比べて高い割合となっている。

[居住者アンケートと比較すると、

- ・ほとんどの項目で「そう思う」と回答している割合が居住者より**20pt**以上高くなっている。
- ・「4.買い物に便利」のみ、居住者と同様の傾向である]



○自由記述意見

【よい点】

- 以前よりは賑やかになってきている (2件)
- 快活 (1件)
- 街並みが綺麗で、落ち着く (1件)
- 新しい店等が少ない (2件)
- 便利 (2件)
- よい (1件)

【よくない点】

- さびれている (1件)
- 空き店舗が増えた (1件)
- せまい (1件)

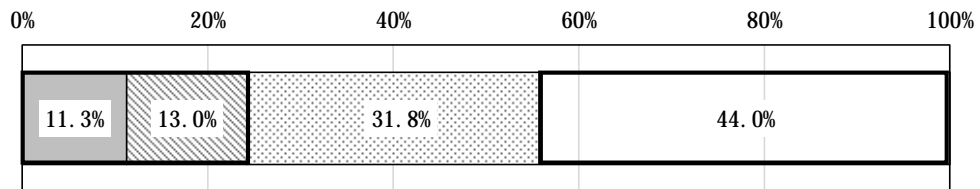
【その他の意見】

- ディオスを若い子向けの駅ビルになったら客層も変わると思う (1件)
- 国立循環器病研究センターが移転したら、街の活気が落ちそう (1件)
- もっと大きなショッピングモールにしてほしい (1件)

④公園・緑地について

○利用頻度

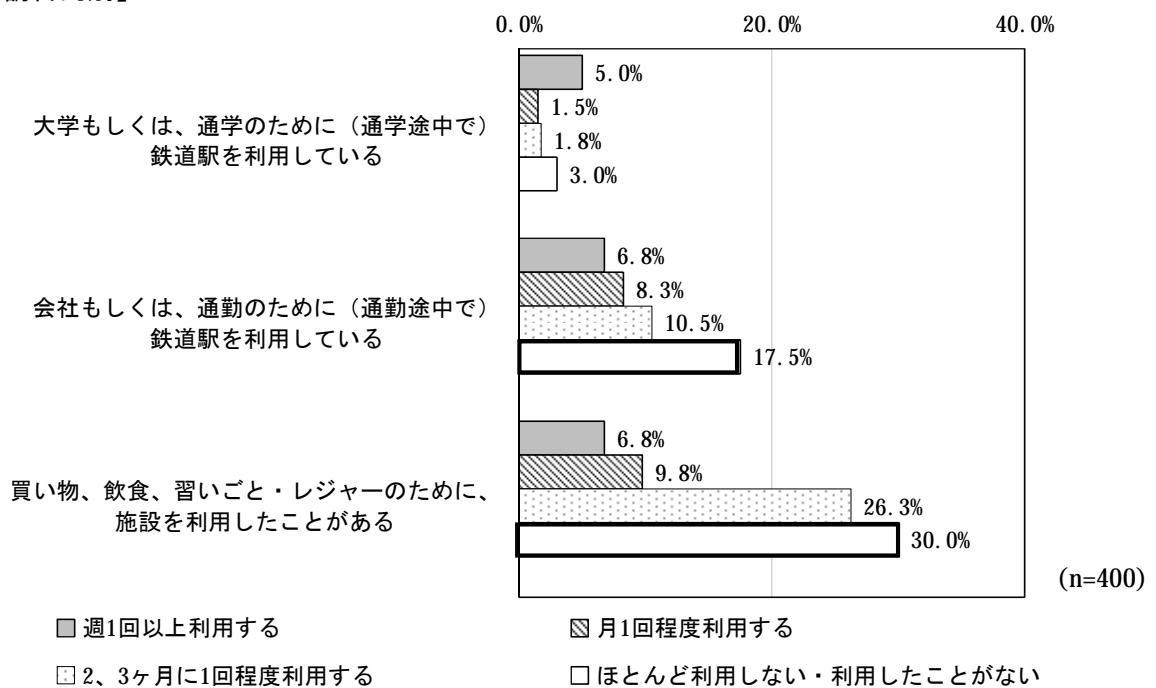
- ・「月1回程度」以上利用する人は、24.3%と低く、一方で「ほとんど利用しない・利用したことがない」が44.0%と半数近くを占めている。



- 週1回以上利用する
- ▨ 月1回程度利用する
- ▩ 2、3ヶ月に1回程度利用する
- ほとんど利用しない・利用したことがない

- ・「通勤」「買い物等」での来訪者では「ほとんど利用しない・利用したことがない」の割合が高い。

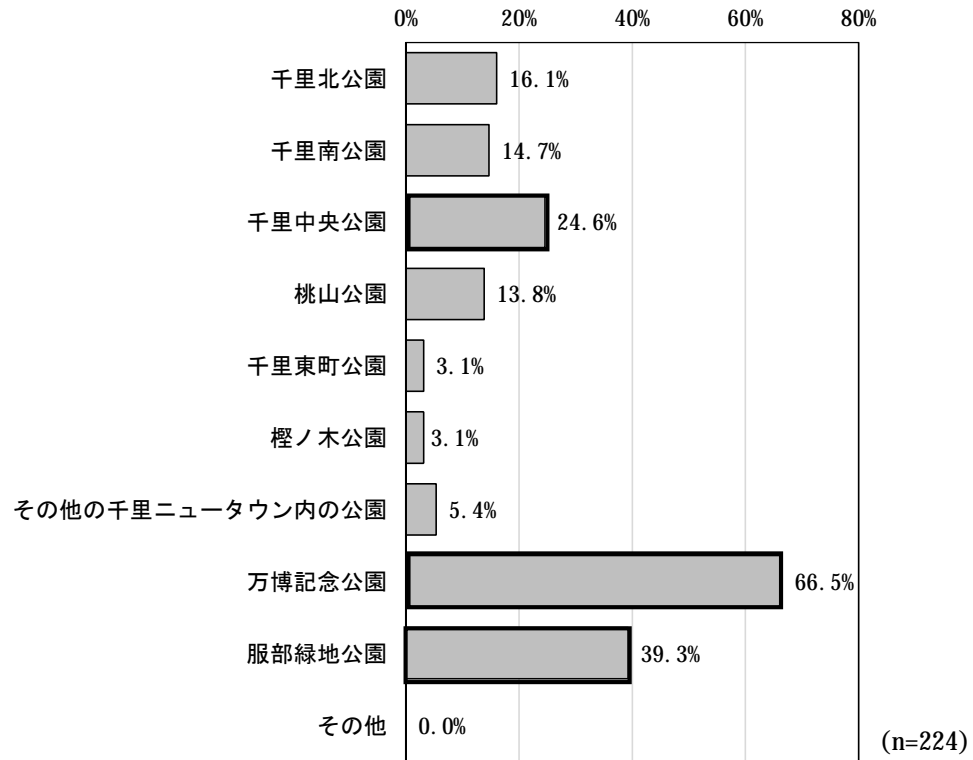
【来訪目的別】



(※利用頻度で「ほとんど利用しない・利用したことがない」と回答した方を除く)

○利用する公園・緑地

- ・「万博記念公園」が **66.5%**と最も高く、次いで「服部緑地公園」が **39.3%**となっている。
- ・千里ニュータウン内の公園では、「千里中央公園」が **24.6%**と最も高く、次いで「千里南公園」「千里北公園」となっている。



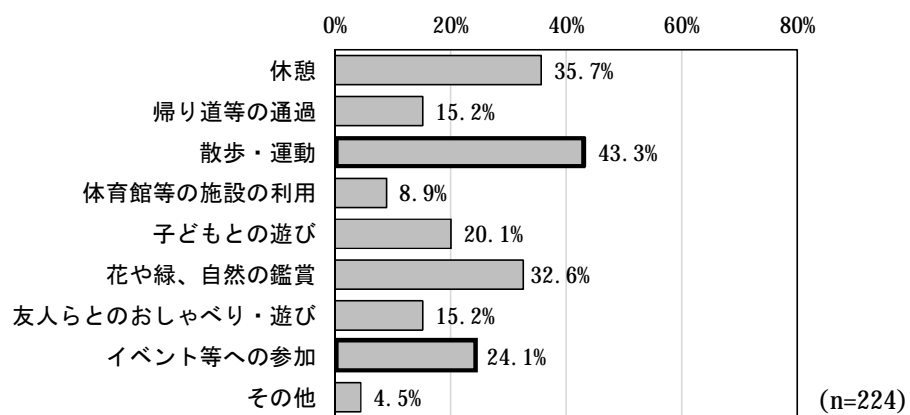
○利用目的

- ・「散歩・運動」が**43.3%**、「休憩」が**35.7%**、「花や緑、自然の鑑賞」が**32.6%**、「イベント等への参加」が**24.1%**となっている。
- ・千里中央・千里南・千里北公園の利用者でみると、「休憩」「散歩・運動」での利用が**50%**程度と高い割合となっている。

[居住者アンケートと比較すると（問14）、

- ・「花や緑、自然の鑑賞」「イベント等への参加」で**10pt**以上と高い割合である

※ただし、利用する公園には、万博記念公園、服部緑地公園も含まれている]

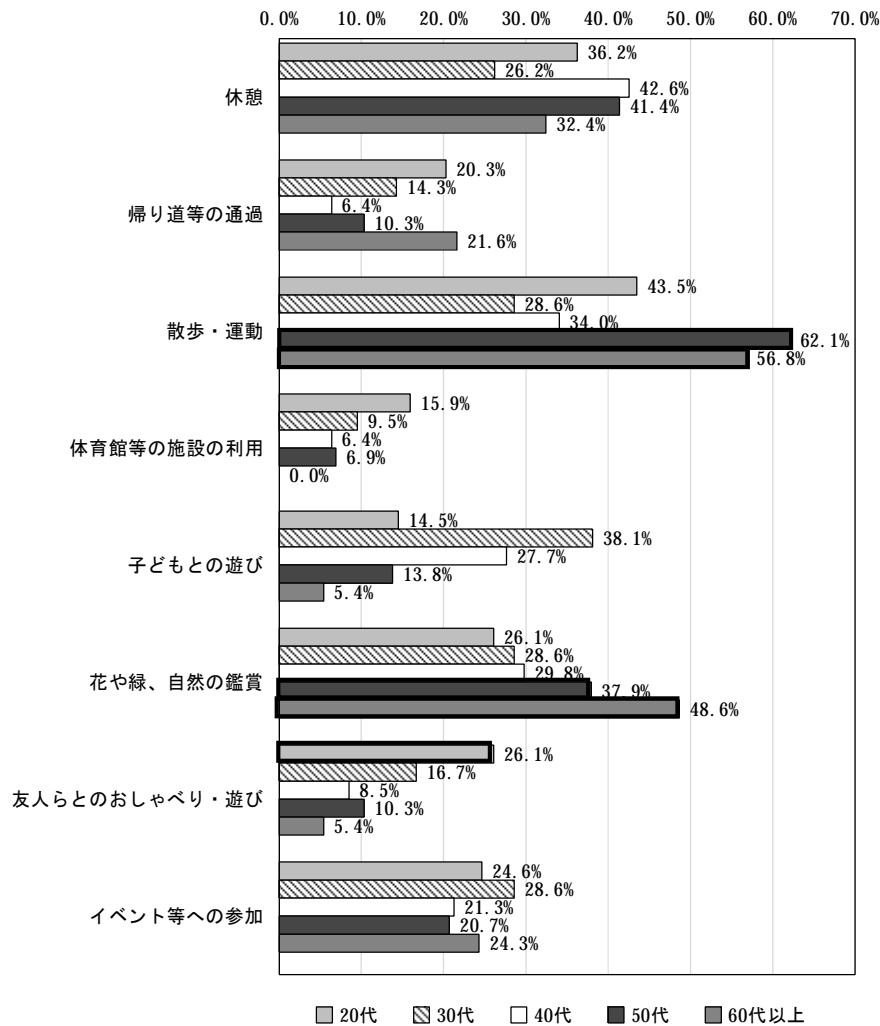


(その他の内容)

写真撮影／サイクリングコース／犬の散歩／乗馬（2件）／仕事／孫との遊び
バーベキュー／民俗博物館 等

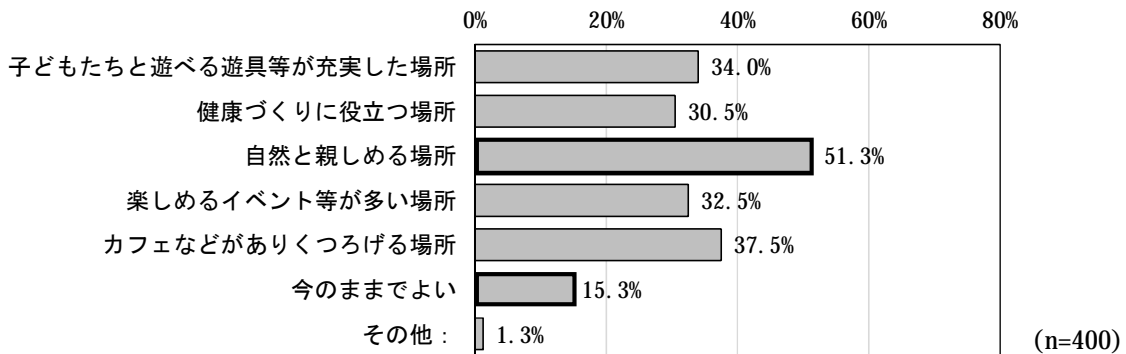
【年齢別】

- ・年齢別にみると、50歳代以上で「散歩・運動」「花や緑、自然の鑑賞」が他の世代より高く、20歳代では、「友人らとのおしゃべり・遊び」が他の世代より高い割合となっている。



○なればよいと思う公園・緑地のイメージ

- ・「自然と親しめる場所」が 51.3%と最も高く、次いで「カフェなどがありくつろげる場所」が 37.5%、「子どもたちと遊べる遊具等が充実した場所」が 34.0%、「楽しめるイベント等が多い場所」が 32.5%となっている。
- ・一方、「今のままでよい」は 15.3%と低い割合であり、特に若い年代で割合が低い。

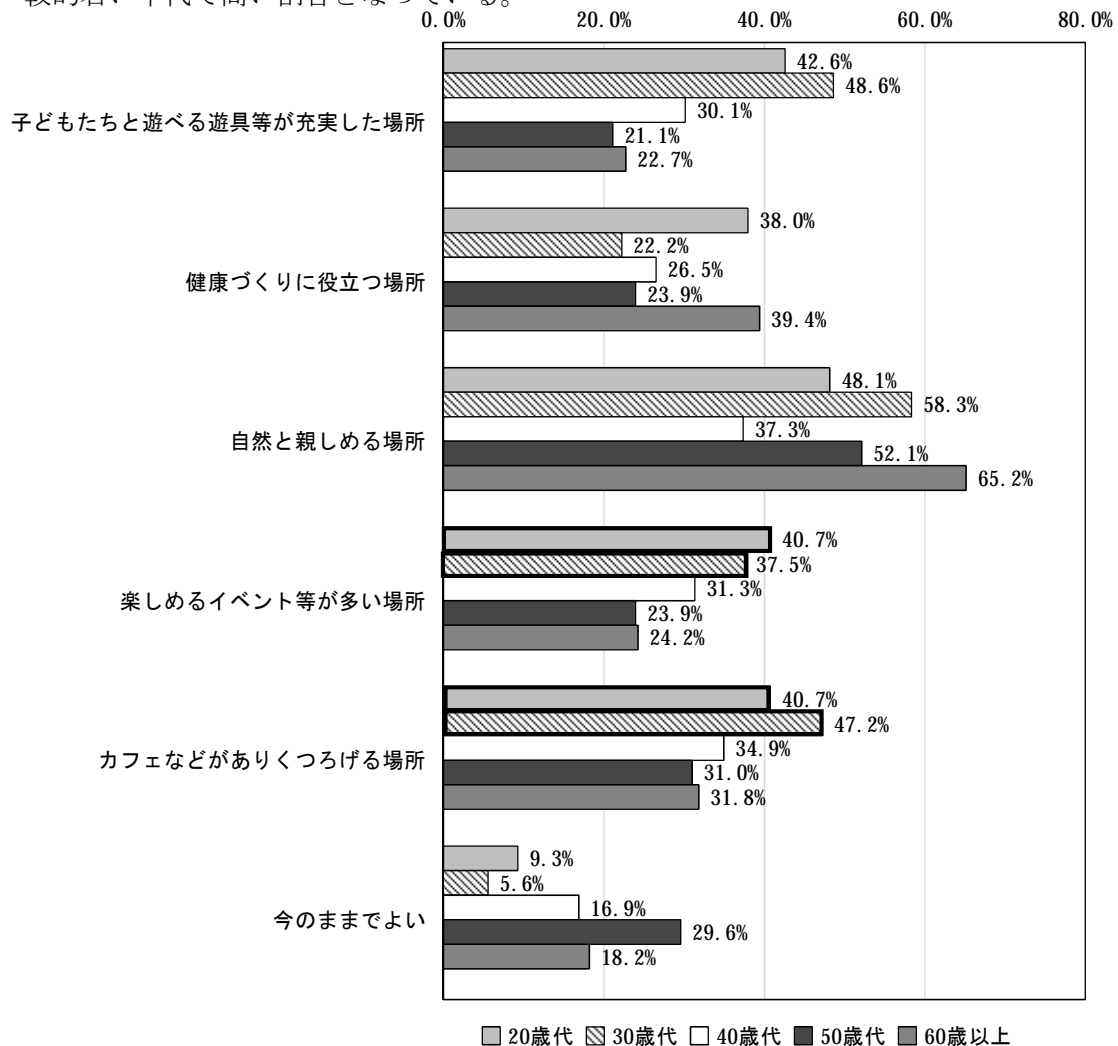


(その他の内容)

ドッグラン／車の駐車場と周りの道路の渋滞がなくなる／トイレがきれいになる

【年齢別】

- ・年齢別にみると、「楽しめるイベント等が多い場所」「くつろげる場所」で 20～30 歳代の比較的若い年代で高い割合となっている。

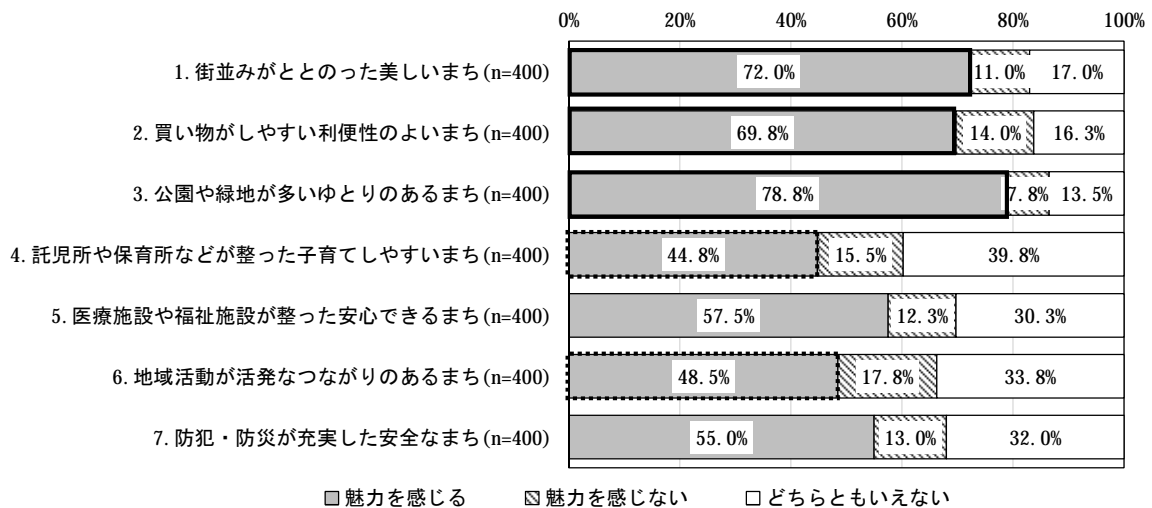


(4) 千里ニュータウンの魅力について

- ・魅力を感じると評価されているのは、「3. 公園や緑地が多いゆとりのあるまち」が **78.8%**と最も高く、次いで「1. 街並みがととのった美しいまち」が **72.0%**、「2. 利便性のよいまち」が **69.8%**となっている。
- ・一方、「4. 子育てしやすいまち」「6. 地域活動が活発なまち」では、魅力を感じる割合が **50%**以下と他より低い割合となっている。

[居住者アンケートと比較すると（問4）、

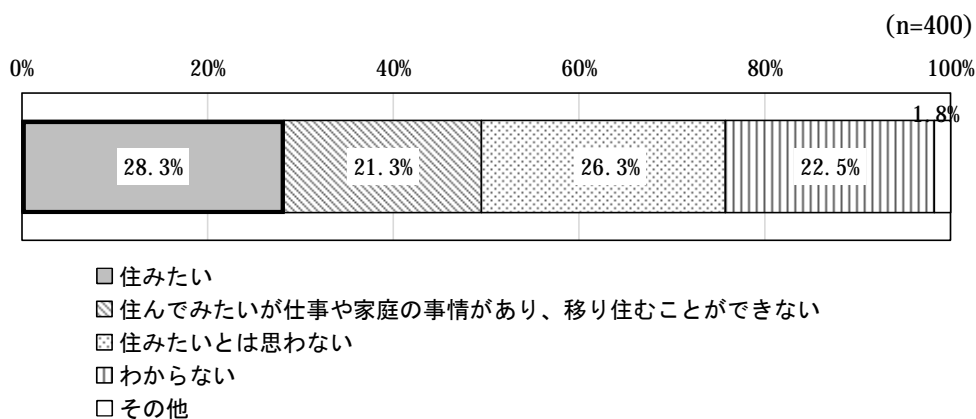
- ・「1. 街並みがととのった美しいまち」で「魅力を感じる」割合が居住者より **7pt** 低い割合
- ・「2. 公園や緑地が多いゆとりのあるまち」で「魅力を感じる」割合が居住者より **10pt** 程度低い割合
- ・「6. 地域活動が活発なつながりのあるまち」で「魅力を感じる」割合が居住者より **20pt** 以上高い割合 である]



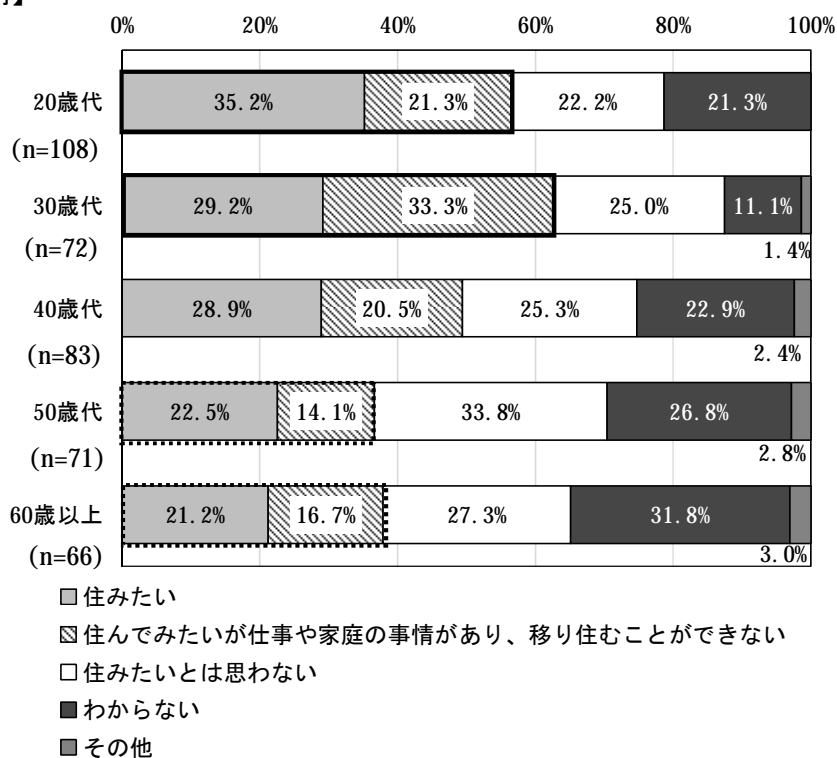
(5) 千里ニュータウンへの居住意向について

○居住意向

- ・「住みたい」が **28.3%**、「住んでみたいが仕事や家庭の事情があり、移り住むことができない」が **21.3%**となっており、「住みたい・住んでみたい」人は半数近くいる。
- ・一方、「住みたいとは思わない」が **26.3%**となっている。
- ・年齢別にみると、若い世代の方が「住みたい」割合が高く、**50歳代以上**では、「住みたい」「住んでみたいが仕事や家庭の事情があり、移り住むことができない」をあわせても **4割以下**となっている（「わからない」の回答割合も他の世代より高い割合である）。



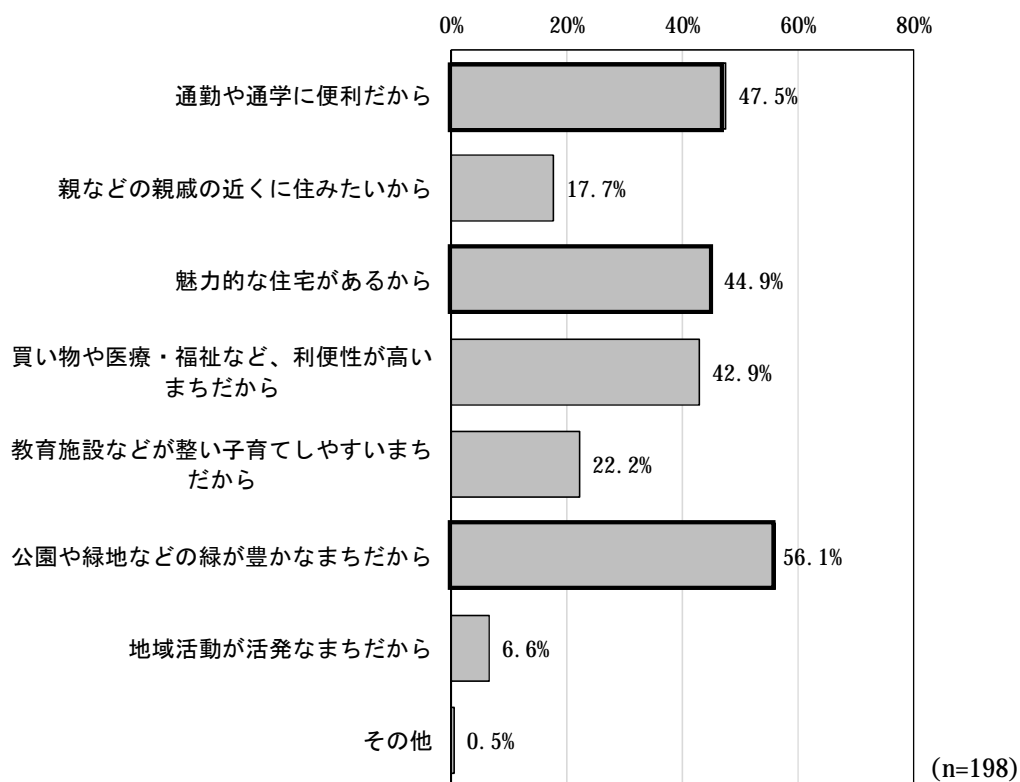
【年齢別】



(※前問で「住みたい」「住んでみたいが仕事や家庭の事情があり、移り住むことができない」と回答したのみ)

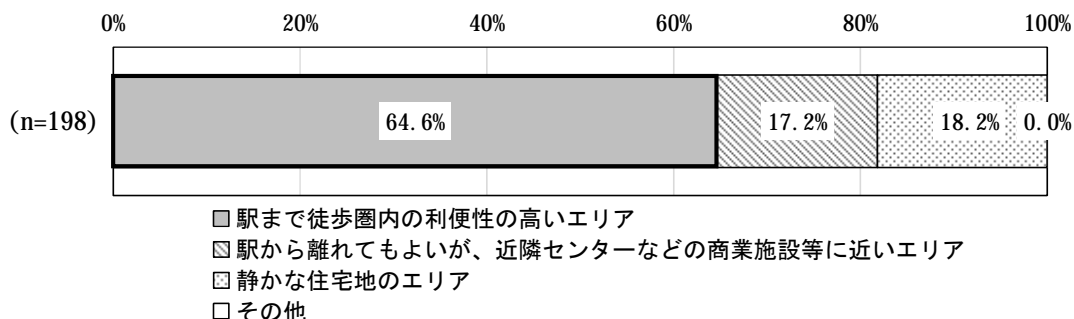
○住んでみたいと思う理由<複数回答可>

- ・「公園や緑地などの緑が豊かなまちだから」が 56.1%と最も高く、次いで「通勤や通学に便利だから」が 47.5%、「魅力的な住宅があるから」が 44.9%、「買い物や医療・福祉など、利便性が高いまちだから」が 42.9%となっている。



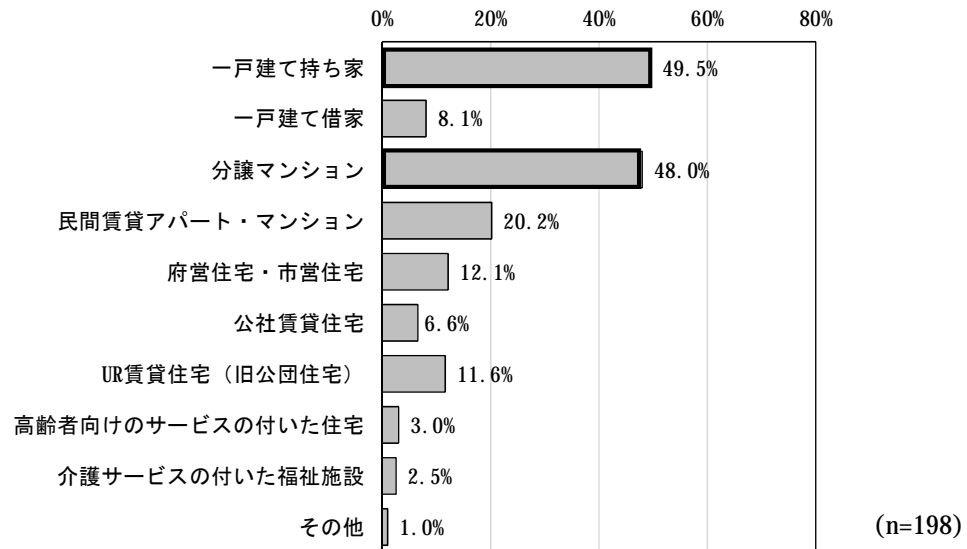
○住んでみたいと思うエリア

- ・「駅まで徒歩圏内の利便性の高いエリア」が 64.6%と最も高い。



○住んでみたいと思う住宅<複数回答可>

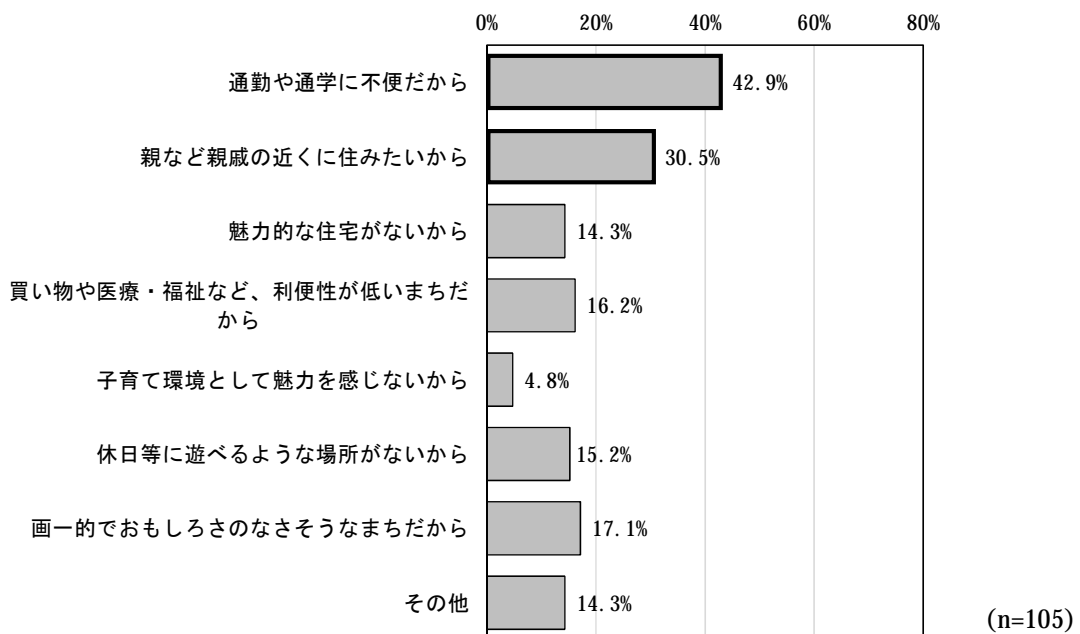
- ・「一戸建て持ち家」が49.5%、「分譲マンション」が48.0%であり、半数が選択している。



(※「住みたいとは思わない」と回答したのみ)

○住みたいとは思わない理由<複数回答可>

- ・「通勤や通学に不便だから」が42.9%、「親など親戚の近くに住みたいから」が30.5%であり、回答者の家庭等の事情による理由が多い。
- ・一方、千里ニュータウンのまちに関しては「画一的でおもしろさのなさそうなまちだから」が17.1%、「買い物や医療・福祉など、利便性が低いまちだから」が16.2%、「休日等に遊べるような場所がないから」が15.2%となっている。



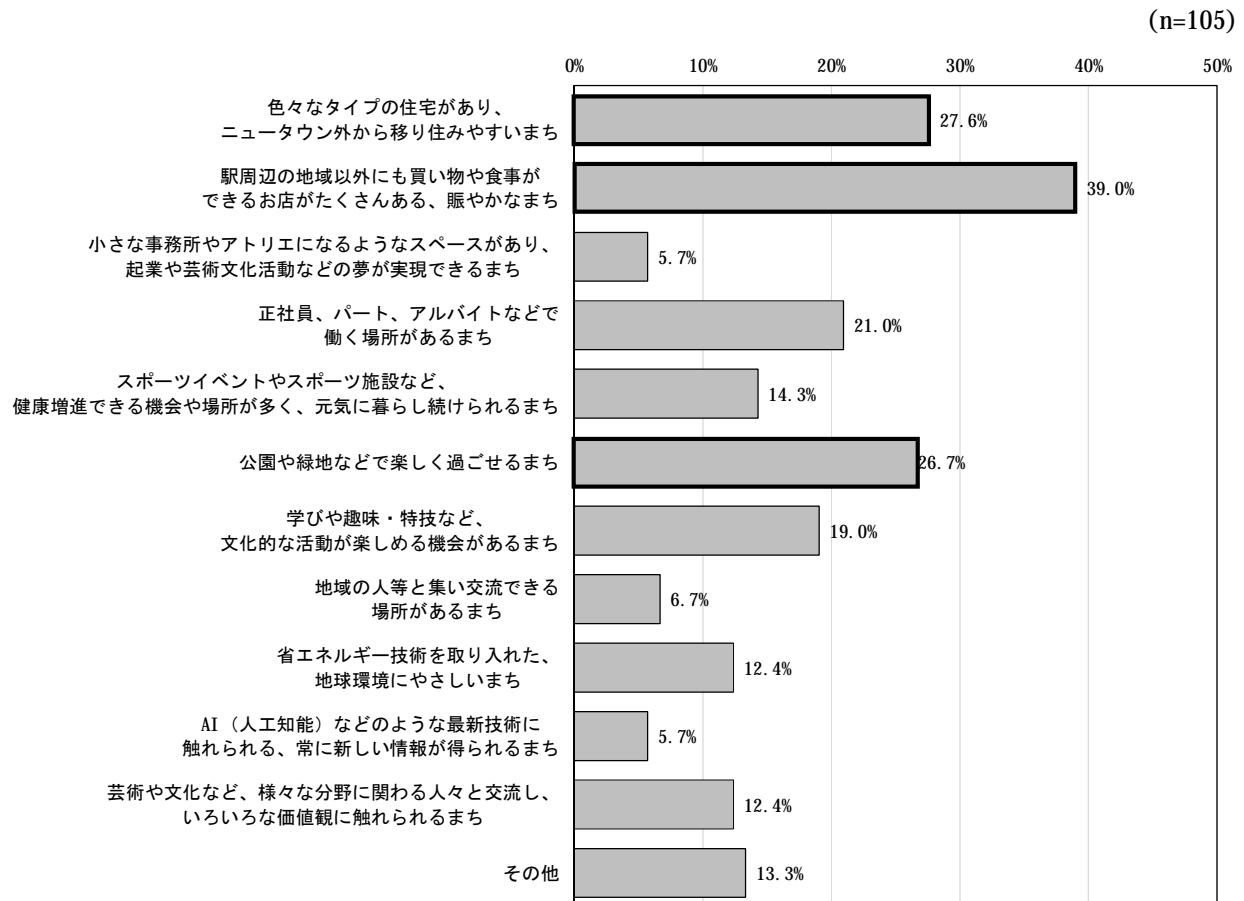
(その他の内容)

団地、マンションばかりで駅近に戸建てが少ない／起伏が激しい・坂が多い（2件）／高齢者が多い（2件）／物価が高いから／自然が足りない／是非ここに住みたいと思うポイントがない

○住むにはどのようなまちであればよいと思うか〈複数回答可〉

- ・「駅周辺の地域以外にも買い物や食事ができるお店がたくさんある、賑やかなまち」が **39.0%** と最も高く、次いで「色々なタイプの住宅があり、ニュータウン外から移り住みやすいまち」が **27.6%**、「公園や緑地などで楽しく過ごせるまち」が **26.7%**となっている。

[居住者アンケートと比較すると（問 19）、いずれの選択肢も居住者アンケートより低い割合である]



(その他の内容)

自然がいっぱいになればよい／

「ニュータウン」として発展させようとしている時点で住みたくない／

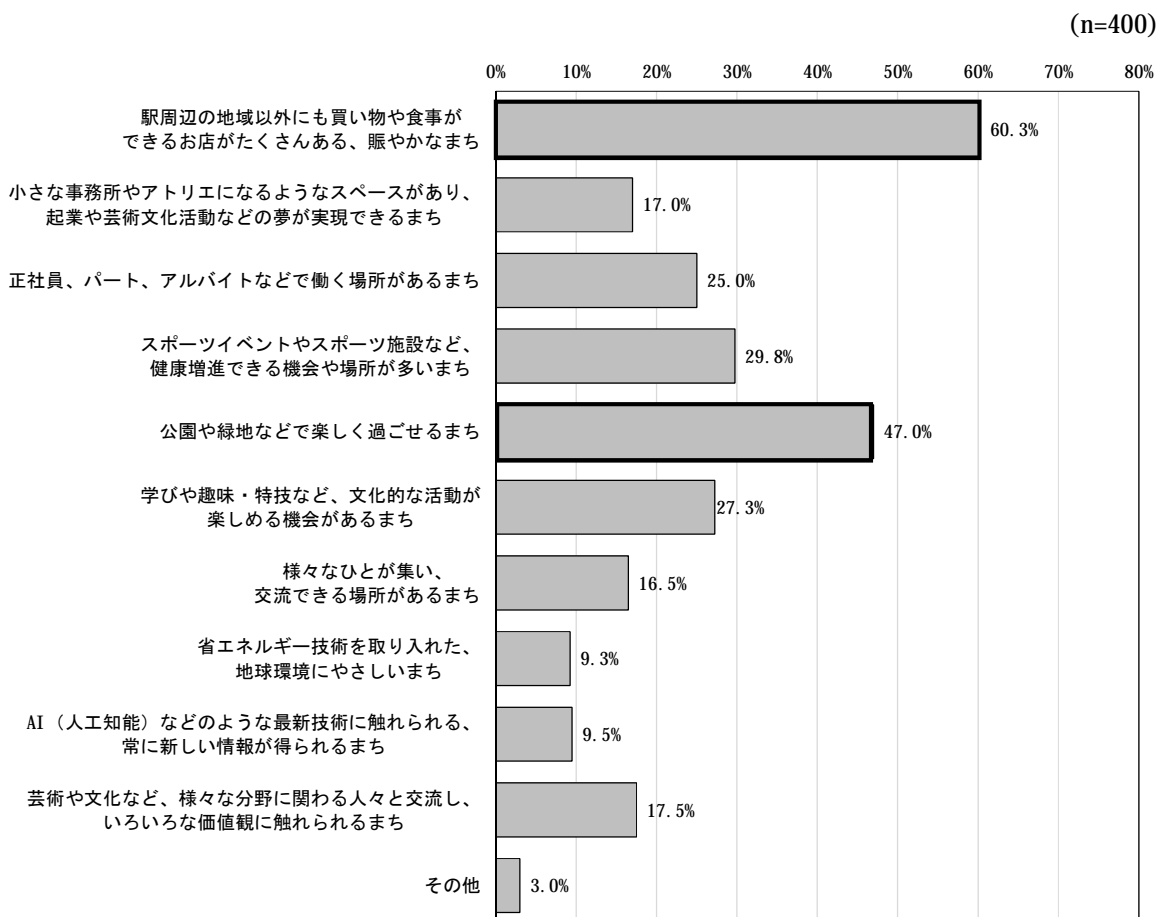
坂が少なくなればよい／交通の便がよいまち／

梅田への地下鉄料金が安くなれば住みたい

(6) 千里ニュータウンへの来街意向について

○もっと訪れるにはどのようなまちであればよいと思うか〈複数回答可〉

- ・「駅周辺の地域以外にも買い物や食事ができるお店がたくさんある、賑やかなまち」が **60.3%**と最も高く、次いで「公園や緑地などで楽しく過ごせるまち」が **47.0%**となっている。
- ・また、「正社員、パート、アルバイトなどで働く場所があるまち」「スポーツイベントやスポーツ施設など、健康増進できる機会や場所が多いまち」「学びや趣味・特技など、文化的な活動が楽しめる機会があるまち」が **20%以上**となっている。



(その他の内容)

車の渋滞の緩和／交通費が安いまち／

落ち着いた住宅街／

飲み屋が多いまち／

駅の近くに日帰り湯がある／

若い人が楽しめるようなカフェやお店がたくさんあるまち／

飼い犬と出掛けられる場所やお店がたくさんできてくれたらよい

【年齢別】

- ・年齢別にみると、「正社員、パート、アルバイトなどで働く場所があるまち」が20～40歳代の比較的若い年代で30%程度と高い割合となっている。また「公園や緑地などで楽しく過ごせるまち」は60歳以上で6割以上と他の年代より高い割合となっている。

